



「虹の根本に居る人は」

神戸国際大学オルガニスト 伊藤純子

先日、電車に乗っていると、虹に目を奪われました。半月型の鮮やかな色彩で、虹の「根元」は太く濃く、根元に当たる地上には、建物が密集している様子が見えました。

ちょうど虹の根元に居る人は、その時どんな感じなのでしょう。虹の光の色が見えるのでしょうか。もしかしたら、自分の居場所に虹が差し込んでいることすら気付かないかも知れません。照らされている人には光が見えなくて、自分が照らされていることに気付かないように。

別の曇りの日に高台から六甲アイランドを眺めたとき、ちょうど神戸国際大学のあたりにだけ強い光が当たっていました。もし今自分が大学に居たら、このようにピンポイントで光が注がれているという現実には気付かないでいるだろうと思いました。

知らないうちに太陽の力強い光に照らされて支えられていることを改めて感じ、このように支えられていることには自分では気付かないものだと実感しました。「照らされている側」としては、「照らされている事実」に気付かないでいることが多く、自分や自分の身に降り注がれているものについて、自分では客観的に気付けない場合が多いと思います。「灯台もと暗し」ならぬ「虹もと気付かず」です。

「自分に注がれている美しい光」や「自分に注がれている神様のお恵み」に対し、改めて意識して目を向けてみれば、新たな発見と共に、今までとは違う景色が目の前に広がっていることでしょう。

「光」に気付くために必要なこと、それは、「影」を見つめ、味わうことです。

一口メモ「虹の彼方へ」"Over the Rainbow"

1939年制作のミュージカル『オズの魔法使い』の劇中歌。
H.アーレン作曲。E.Y.ハーバーク作詞。

虹の向こうのどこか空高くに／子守歌で聞いた国がある
虹の向こうの空は青く／信じた夢はすべて現実のものとなる
いつか星に願う／目覚めると僕は雲を見下ろし／
すべての悩みはレモンの雫となって
屋根の上へ溶け落ちていく／僕はそこへ行くんだ
虹の向こうのどこかに／青い鳥は飛ぶ
虹を超える鳥達／僕も飛んで行くよ



音色はこちら

<https://youtu.be/CJMsXXxjqCw>



Somewhere over the rainbow Way up high
There's a land that I heard of Once in a lullaby
Somewhere over the rainbow Skies are blue
And the dreams that you dare to dream Really do come true
Some day I'll wish upon a star And wake up where the clouds are far behind me
Where troubles melt like lemondrops
Away above the chimney tops That's where you'll find me
Somewhere over the rainbow Bluebirds fly
Birds fly over the rainbow Why then, oh why can't I?

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子ども
たちのために、
あなたがウクライナの人々を抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

